

防除日誌（記入例）

生産者名：_____ 年度：_____ 作物・作型：_____

日付	圃場	作物・生育段階	発生状況（病害虫・程度）	農薬名（見送りは空欄）	希釈倍数・量（見送りは理由）	使用回数（この表・自動）	総使用回数（成分）／上限	収穫前日数（ラベル・日）	収穫できる日（自動）	実施者	効果・次回メモ
2026/5/14	東1号	トマト・第3花房開花	灰色かび病・下葉に少	〇〇水和剤	2,000倍 150L	1	2 / 4	1	5/15	山田	5/20 拡大なし
2026/5/21	東1号	トマト・第4花房開花	アブラムシ類・数株		見送り（発生少・様子見）		—			山田	5/25 に再確認
2026/5/25	東1号	トマト・第4花房開花	アブラムシ類・増加	△△乳剤	1,000倍 150L	1	1 / 2	7	6/1	佐藤	収穫を6/1に調整
2026/6/4	東1号	トマト・収穫始め	灰色かび病・果実に少	〇〇水和剤	2,000倍 150L	2	3 / 4	1	6/5	山田	6/8 拡大なし

- 農薬の名称・希釈倍数・使用時期・使用回数は、必ず農薬のラベルに書かれた内容を確認してください。
- 「使用回数（この表・自動）」は、この表のその行までにある同じ農薬名の行を数えたもの（今回が何回目か）です。Excel では計算式が入っていて自動で数えます。1枚を1つの作物・作型に使い、農薬名は毎回同じ書き方にします。
- 「総使用回数（成分）」は、同じ有効成分を含む農薬（別の商品、種子消毒・育苗期の使用を含む）をこの作付けで使った通算回数です。表の自動カウントでは数えられないので、ラベルで成分を確かめて書きます。
- 「収穫前日数」には、ラベルの使用時期「収穫〇日前まで」の数字を書きます（前日までは1）。Excel では「収穫できる日」（日付＋収穫前日数）が自動で計算されます。この日より前には収穫しません。
- 記入例の農薬名・人名は架空のものです。